

# 2007年度(2008年3月期) 通期(第4四半期)決算説明会

---

2008年4月30日

セイコーエプソン株式会社

## ■ 将来見通しに係わる記述についての注意事項

---

本説明資料に記載されている将来の業績に関する見通しは、公表時点で入手可能な情報に基づく将来の予測であり、潜在的なリスクや不確定要素を含んだものです。

そのため、実際の業績はさまざまな要素により、記載された見通しと大きく異なる結果となり得ることをご承知おきください。実際の業績に影響を与えうる要素としては、日本および海外の経済情勢、市場におけるエプソンの新商品・新サービスの開発・提供とそれらに対する需要の動向、価格競争を含む他社との競合、テクノロジーの変化、為替の変動などが含まれます。

なお、業績等に影響を与えうる要素は、これらに限定されるものではありません。

## ■ 本説明資料における表示方法

---

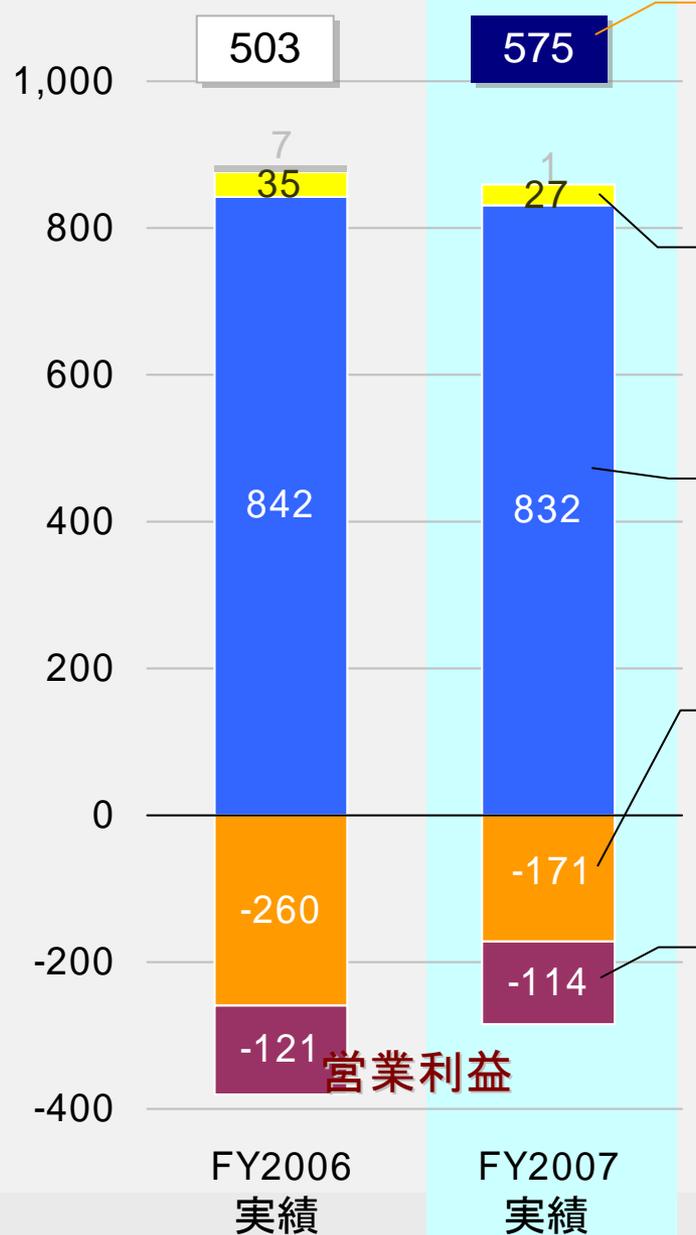
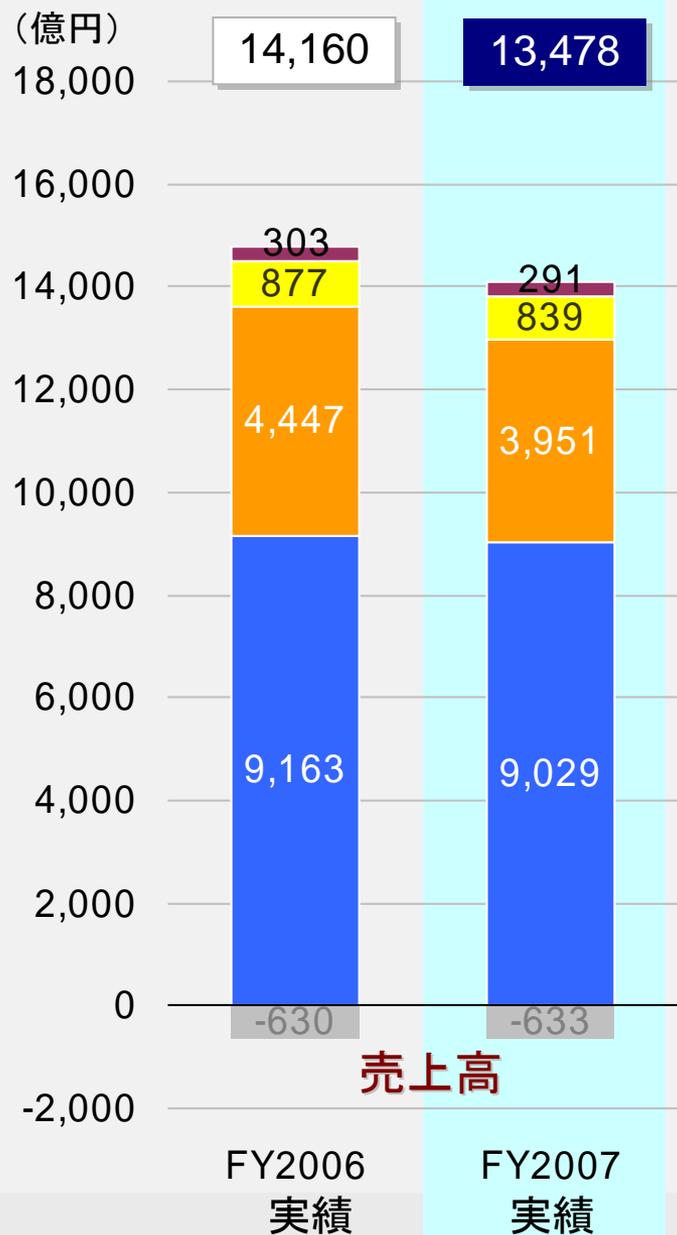
数値： 表示単位未満を切り捨て

比率： 千円単位で計算後、表示単位の一桁下位を四捨五入

1. 概要ご説明

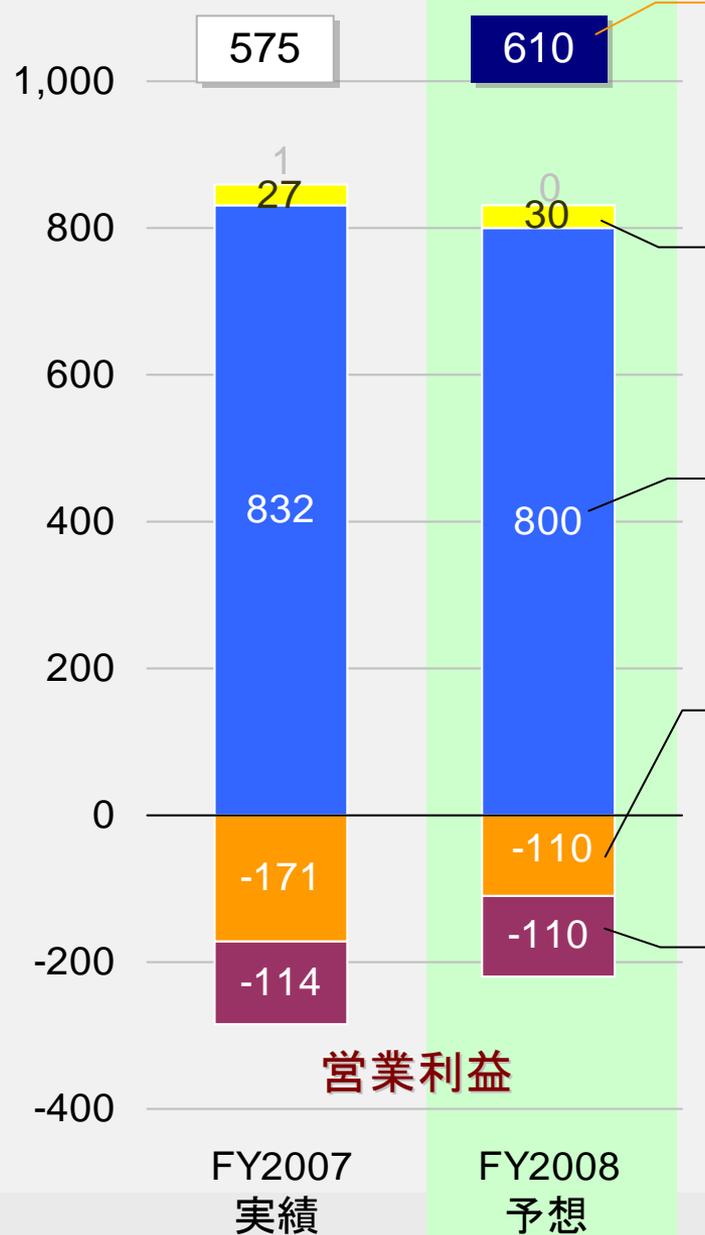
2. 詳細ご説明

# 2007年度業績▶事業セグメント別



連結合計	
売上高	-681
営業利益	+72
精密機器	
売上高	-38
営業利益	-8
情報関連機器	
売上高	-133
営業利益	-9
電子デバイス	
売上高	-495
営業利益	+88
その他	
売上高	-11
営業利益	+6
消去又は全社	

# 2008年度業績予想▶事業セグメント別



連結合計	
売上高	-478
営業利益	+34
精密機器	
売上高	+40
営業利益	+2
情報関連機器	
売上高	-289
営業利益	-32
電子デバイス	
売上高	-251
営業利益	+61
その他	
売上高	+48
営業利益	+4
消去又は全社	

## 中期経営計画・創造と挑戦1000

### 中期グループ経営方針

- ① 事業・商品ポートフォリオの明確化と強化
- ② デバイス事業構造改革推進
- ③ コスト効率の徹底推進
- ④ ガバナンス体系の改革
- ⑤ 企業風土改革と全員による推進

### 売上高

#### 2007年度目標には未達

- 情報関連機器  
インクジェットは減収となっているものの、ビジネスシステム、プロジェクターは伸長
- 電子デバイス  
構造改革により半導体、ディスプレイは減収 水晶は堅調
- 精密機器は堅調

### 利益

#### 2007年度目標は ほぼ達成

- 中期グループ経営方針のもと、改革を推進  
ディスプレイはポートフォリオの転換に遅れがあったものの、コスト削減などへの取り組みの成果より、情報関連を中心に堅調

## 情報関連機器セグメント

### インクジェットプリンタ

- 為替の影響もあったが、コスト削減への取り組みにより収益性を維持
- 本体1,500万台の販売を達成
- ビジネス・産業分野への取り組み

## 電子デバイスセグメント

### 中・小型液晶ディスプレイ

- ポートフォリオの転換に時間がかかり、効果が十分に取込めていない
- 市況の変化による価格低下の鈍化もあり、
  - ・アモルファスTFTは改善
  - ・LTPSは高精細を活かせるアプリケーションが十分になく、損失を計上

## インクジェットプリンタの戦略について

### 安定した利益を維持し、中長期的な利益成長を目指す

- 消耗品の販売に結びつけるため、競争力のある商品の投入により 前期比、本体の販売数量増
- コストダウンへの取り組み
- ピエゾヘッド技術を核とした、ビジネス・産業分野向けの取り組みを強化



- エプソン独自の取り組みに加え、他社とのアライアンスによる協業を推進中

- 2008年4月21日、ノーリツ鋼機様との包括的業務提携  
従来からのミニラボに関する協業に加え、  
産業用印刷機器の分野においても、  
共同開発・相互開発委託などの協業を進める

## 中・小型液晶ディスプレイ事業の方向性(1)

### 現状認識と課題

- 2007年3月14日に発表した事業構造改革を推進
- 数量増、稼働率向上、コストダウンに加え、市況の変化により価格低下の鈍化の効果があつたものの

- 本質的には、ポートフォリオの転換（高付加価値へのシフト）に遅れがある
- 当初想定した大幅な改善は果たせていない状況

### テクノロジーの方向性

- MD-TFD生産終結（2007年度）
- C-STN生産 大幅縮小、一部ラインをタッチパネル製造へ転換（2008年度中）
- a-TFT/LTPSにリソース集中

### 構造改革のポイント

- 生産拠点の再編  
国内3拠点・海外3拠点 ⇒ 国内および海外拠点の大幅スリム化
- 要員改革の一段の加速  
グループ内の成長分野への再配置等
- 収益性の改善への取り組み  
ポートフォリオ転換（高付加価値、ハイエンドへのシフト）、コストダウン

## 中・小型液晶ディスプレイ事業の方向性(2)

### ●生産拠点の再編(国内および海外拠点の大幅スリム化)

#### 前工程:国内生産拠点

##### 本社 MD-TFD

- 2007年度、製造ラインを終息
- 本社、開発・設計、  
営業・生産管理機能を集約
- 建物の一部は他事業で活用

##### 岐阜事業所 LTPS

- 2009年度、製造ラインを終息
- LTPS先端技術開発に注力

##### 鳥取事業所 a-TFT/LTPS

- パネルの製造機能を集約

#### 国内人員

約2,600名(2007年度)から1,500名体制(2010年度)  
人員はグループ内の成長分野へ配置転換

#### 後工程:海外生産拠点

##### 中国 深圳

- 2008年度、現地加工契約会社との委託加工契約終了

##### フィリピン

- 2008年度、自社工場を終息
- 委託加工工場を  
スリム化・継続活用

##### 中国 蘇洲

- 後工程の製造拠点として強化

#### 海外人員

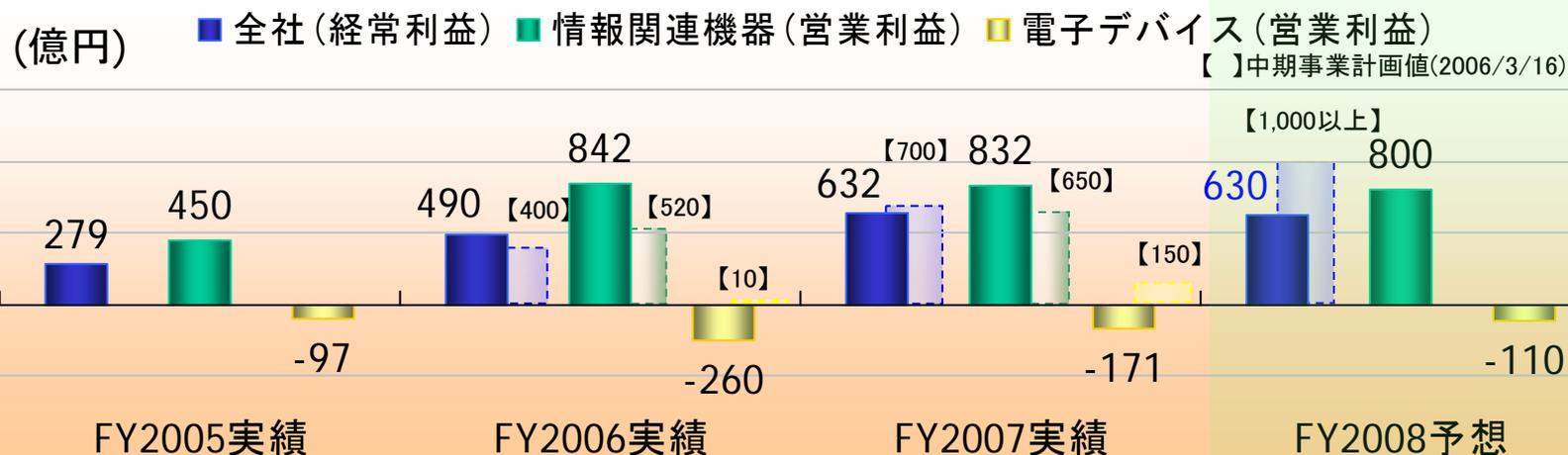
12,000名(2007年度)から4,000名体制(2010年度)

# 2008年度予想のポイント

## 売上高



## 経常利益(セグメントは営業利益)



1. 概要ご説明

2. 詳細ご説明

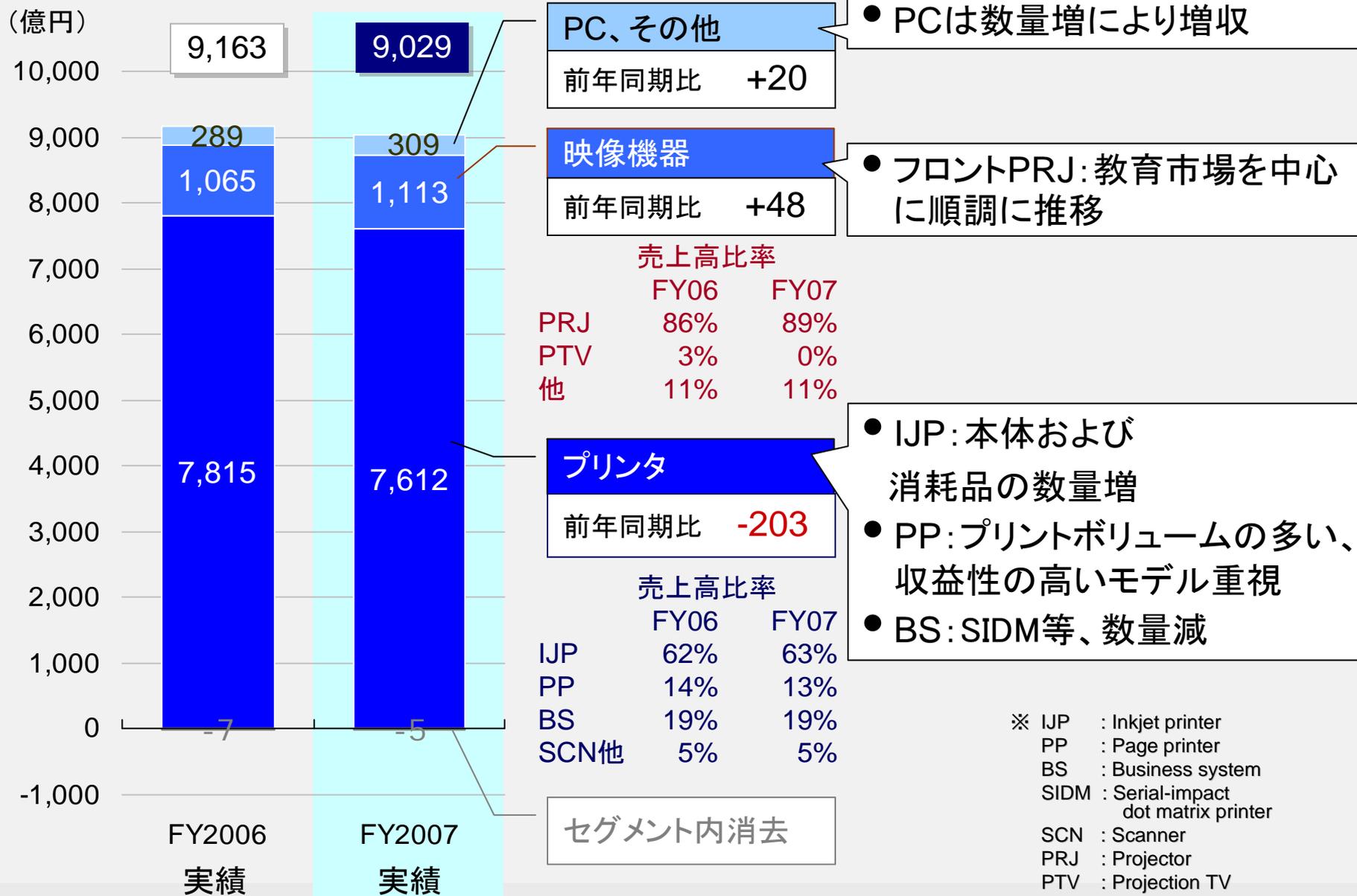
1) 2007年度 決算

2) 2008年度 業績予想

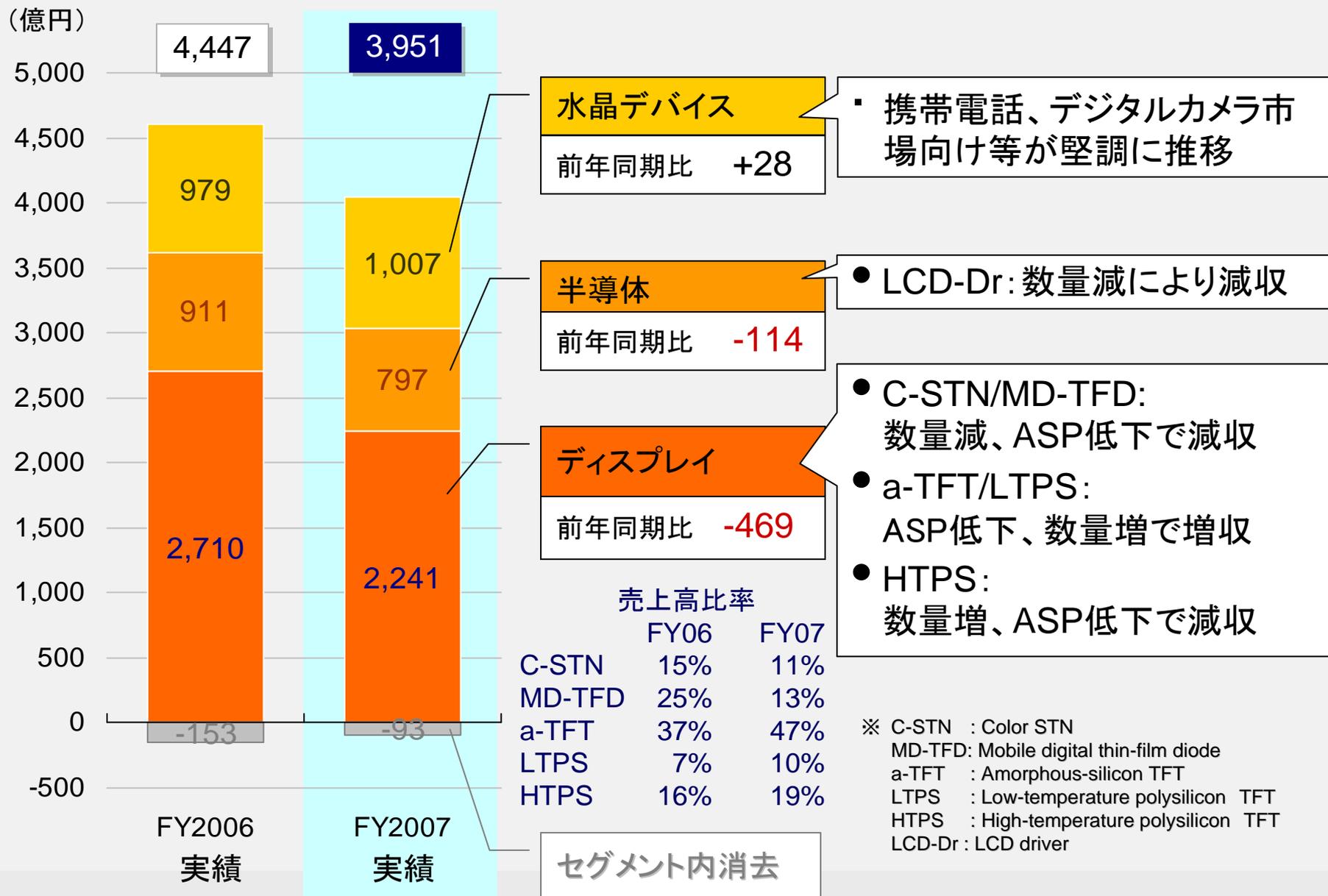
# 決算ハイライト(通期)▶前期比

(億円)	2006年度		2007年度				増減額 増減率	
	実績	%	1/30予想	%	実績	%	前期 実績比	1/30 予想比
売上高	14,160	-	13,790	-	13,478	-	-681 -4.8%	-311 -2.3%
営業利益	503	3.6%	560	4.1%	575	4.3%	+72 +14.4%	+15 +2.8%
経常利益	490	3.5%	600	4.4%	632	4.7%	+141 +28.9%	+32 +5.4%
税引前利益	34	0.2%	530	3.8%	520	3.9%	+485 +1397.6%	-9 -1.8%
当期純利益	△70	-0.5%	230	1.7%	190	1.4%	+261 -	-39 -17.0%
EPS	△36.13 円		117.13 円		97.24 円			
換 算 レ ー ト	USD	117.02 円	115.00 円		114.28 円			
	EUR	150.09 円	163.00 円		161.53 円			

# 売上高比較(通期)▶情報関連機器セグメント



# 売上高比較(通期)▶電子デバイスセグメント



# 貸借対照表主要項目推移

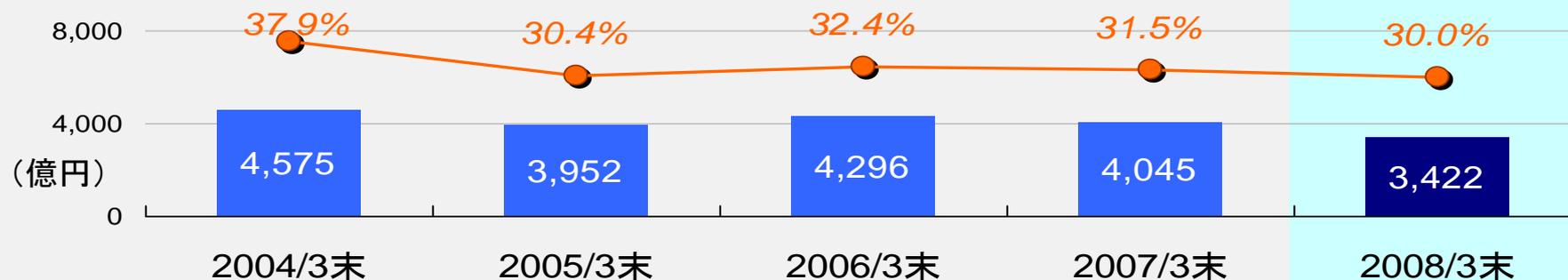
## 総資産



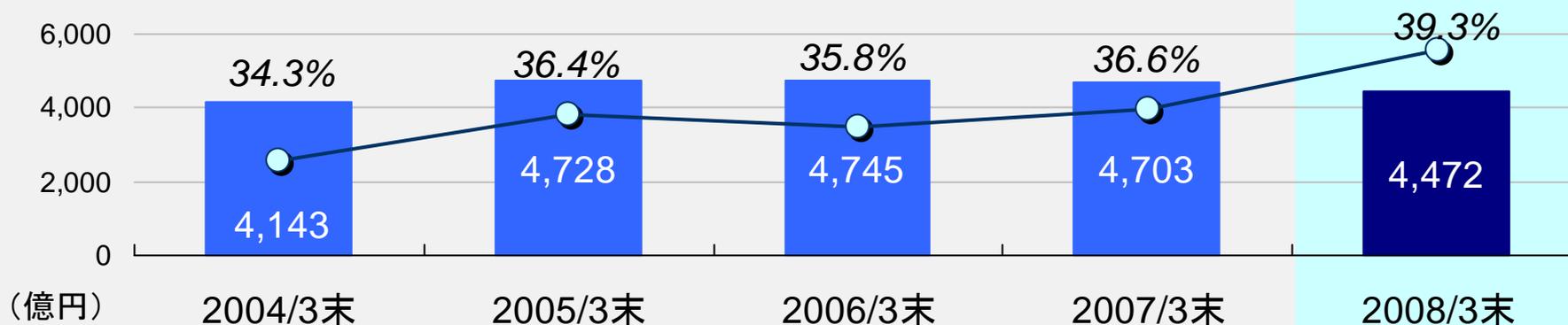
## たな卸資産



## 有利子負債・有利子負債依存度



## 自己資本・自己資本比率

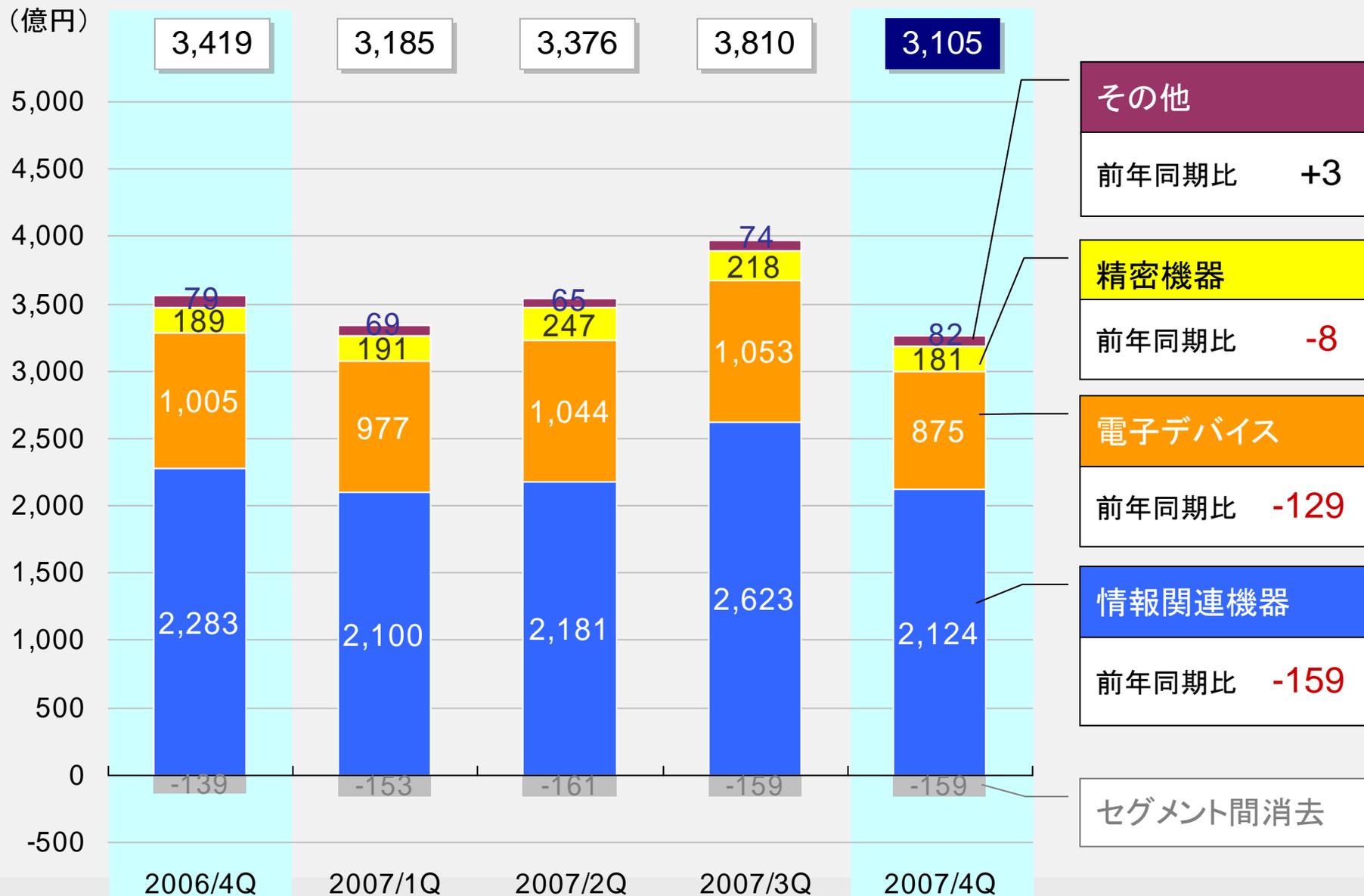


\*自己資本=純資産合計-少数株主持分

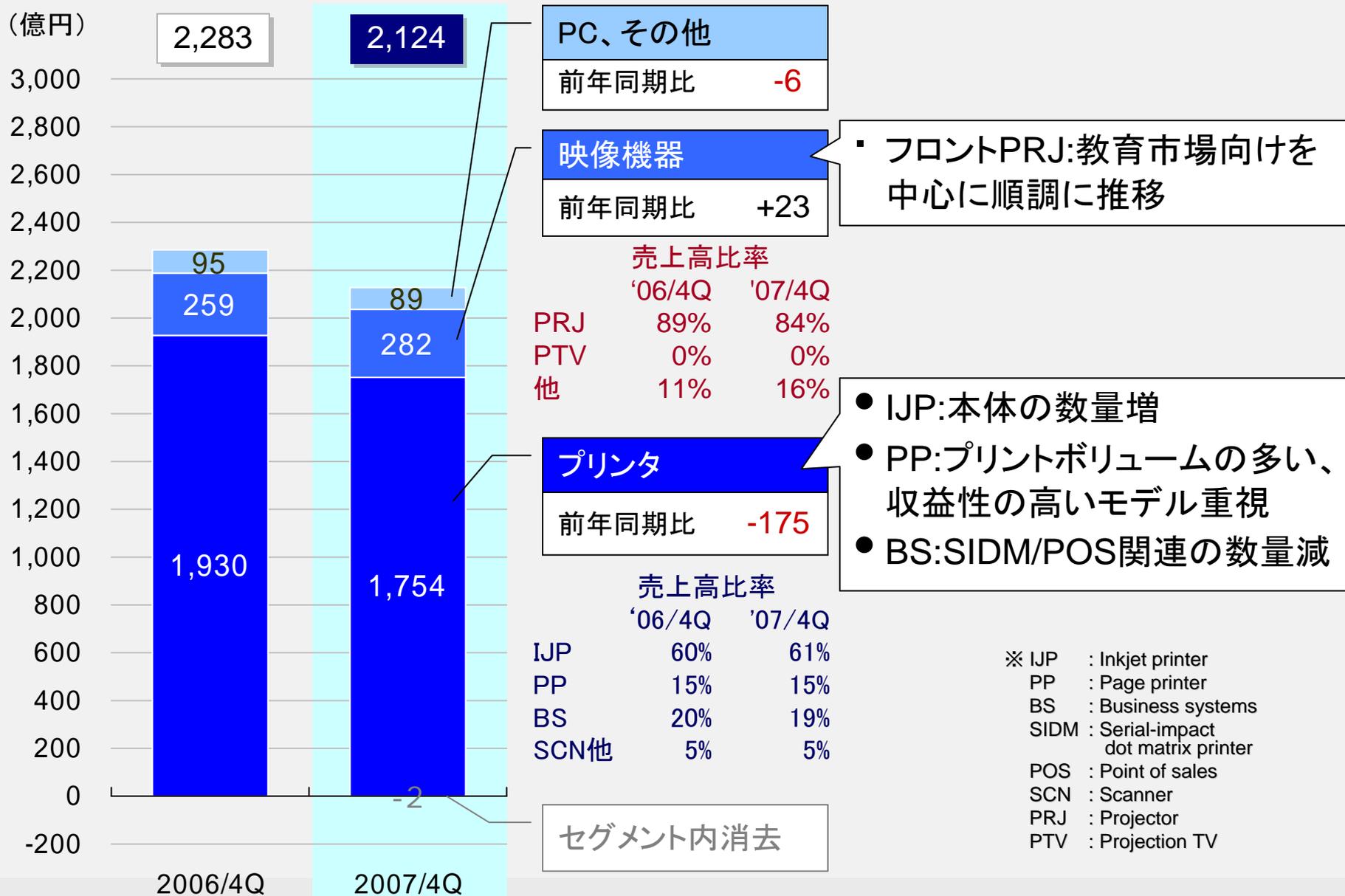
# 決算ハイライト(第4四半期決算) ▶ 前年同期比

(億円)		2006年度		2007年度		増減	
		4Q実績	%	4Q実績	%	増減額	増減率
売上高		3,419	-	3,105	-	-313	-9.2%
営業利益		40	1.2%	18	0.6%	-21	-53.5%
経常利益		40	1.2%	29	1.0%	-10	-26.2%
税引前利益		△366	-10.7%	△27	-0.9%	+338	-
四半期純利益		△210	-6.2%	△31	-1.0%	+178	-
換算 レート	USD	119.52円		105.29円			
	EUR	156.50円		157.64円			

# 四半期売上高推移▶事業セグメント別



# 四半期売上高比較▶情報関連機器セグメント

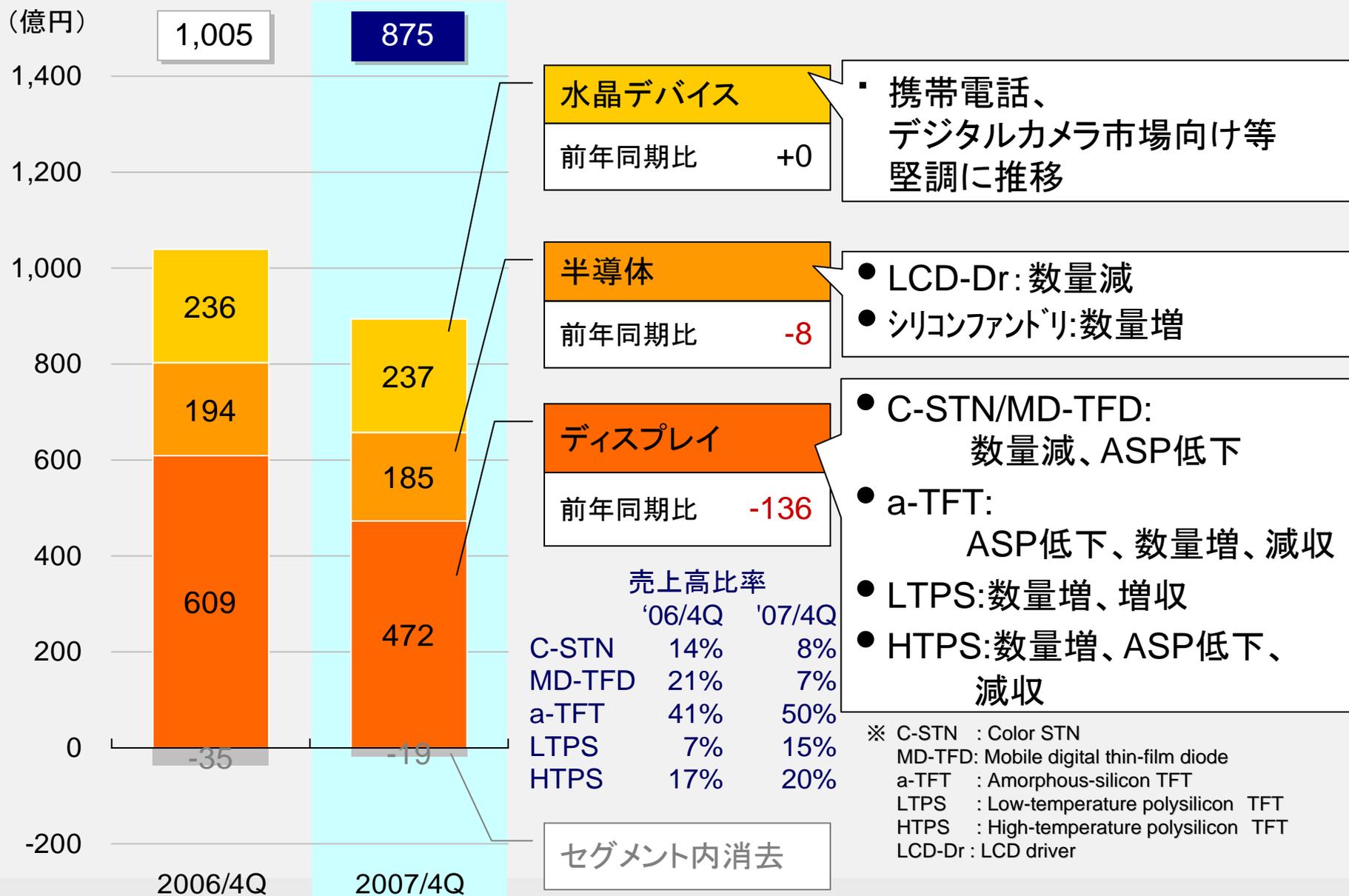


・ フロントPRJ:教育市場向けを中心に順調に推移

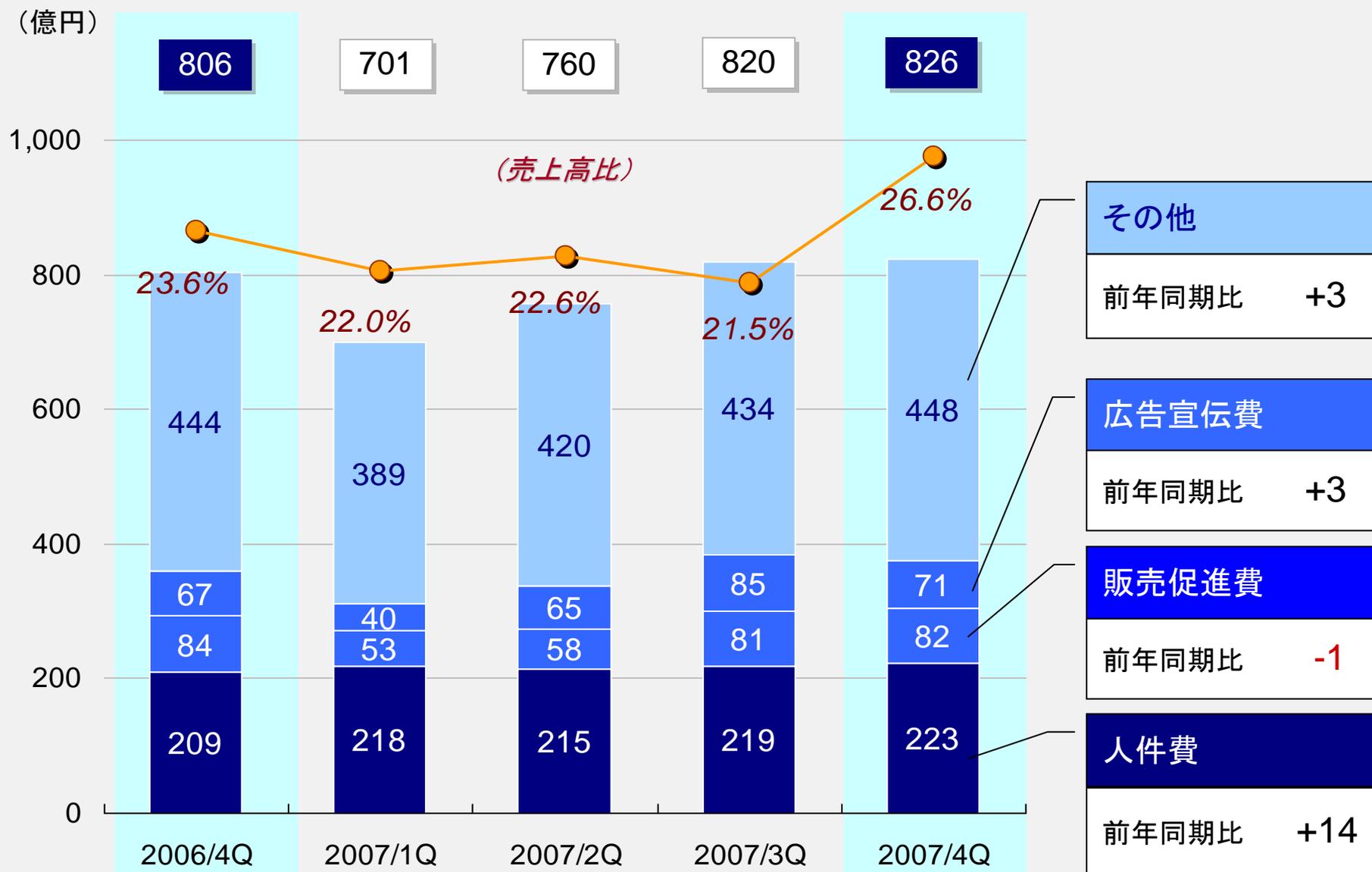
- IJP:本体の数量増
- PP:プリントボリュームの多い、収益性の高いモデル重視
- BS:SIDM/POS関連の数量減

セグメント内消去

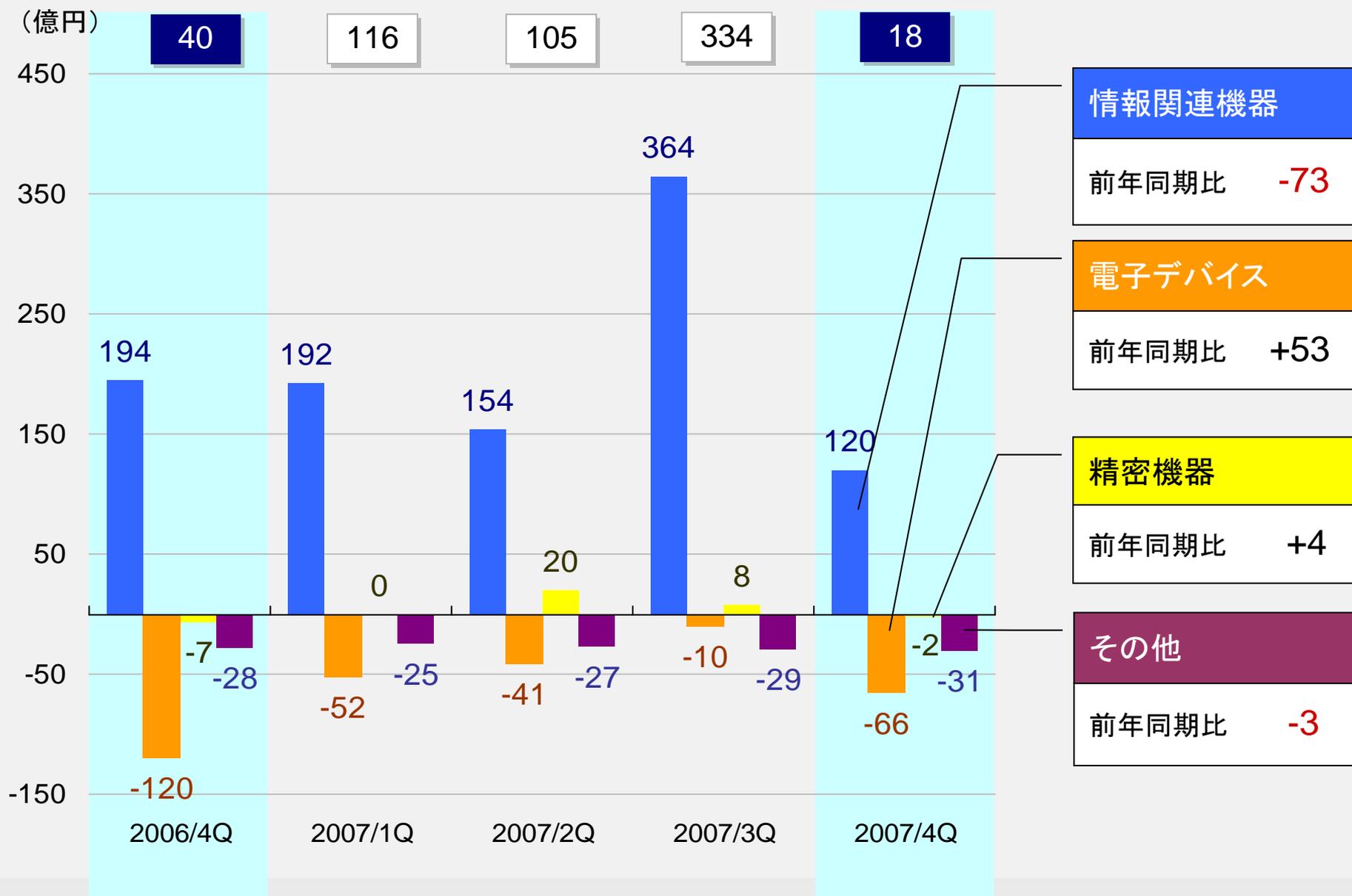
# 四半期売上高比較▶電子デバイスセグメント



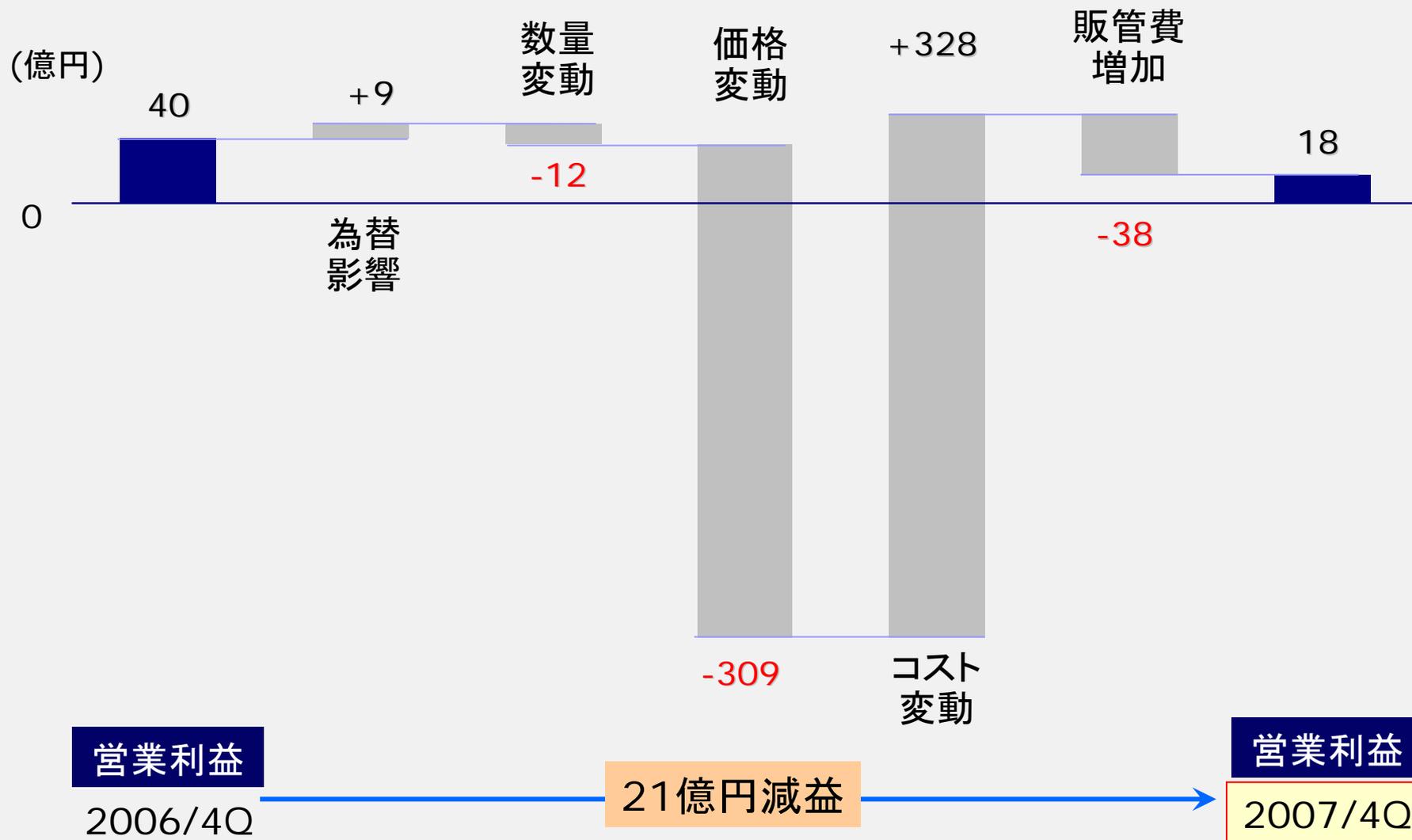
# 四半期販売費及び一般管理費推移



# 四半期営業利益推移▶事業セグメント別



# 營業利益增減要因分析



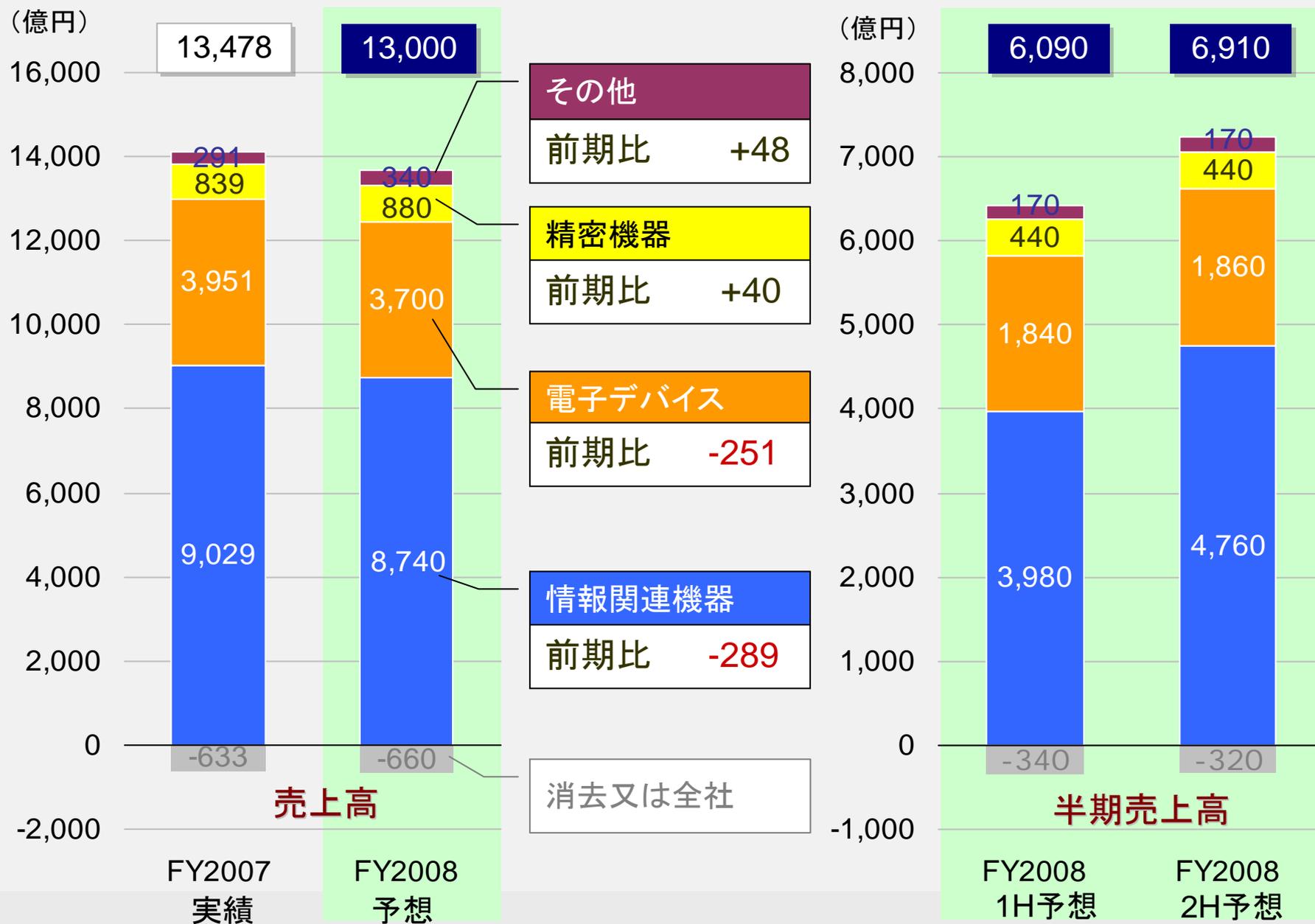
1) 2007年度 決算

2) 2008年度 業績予想

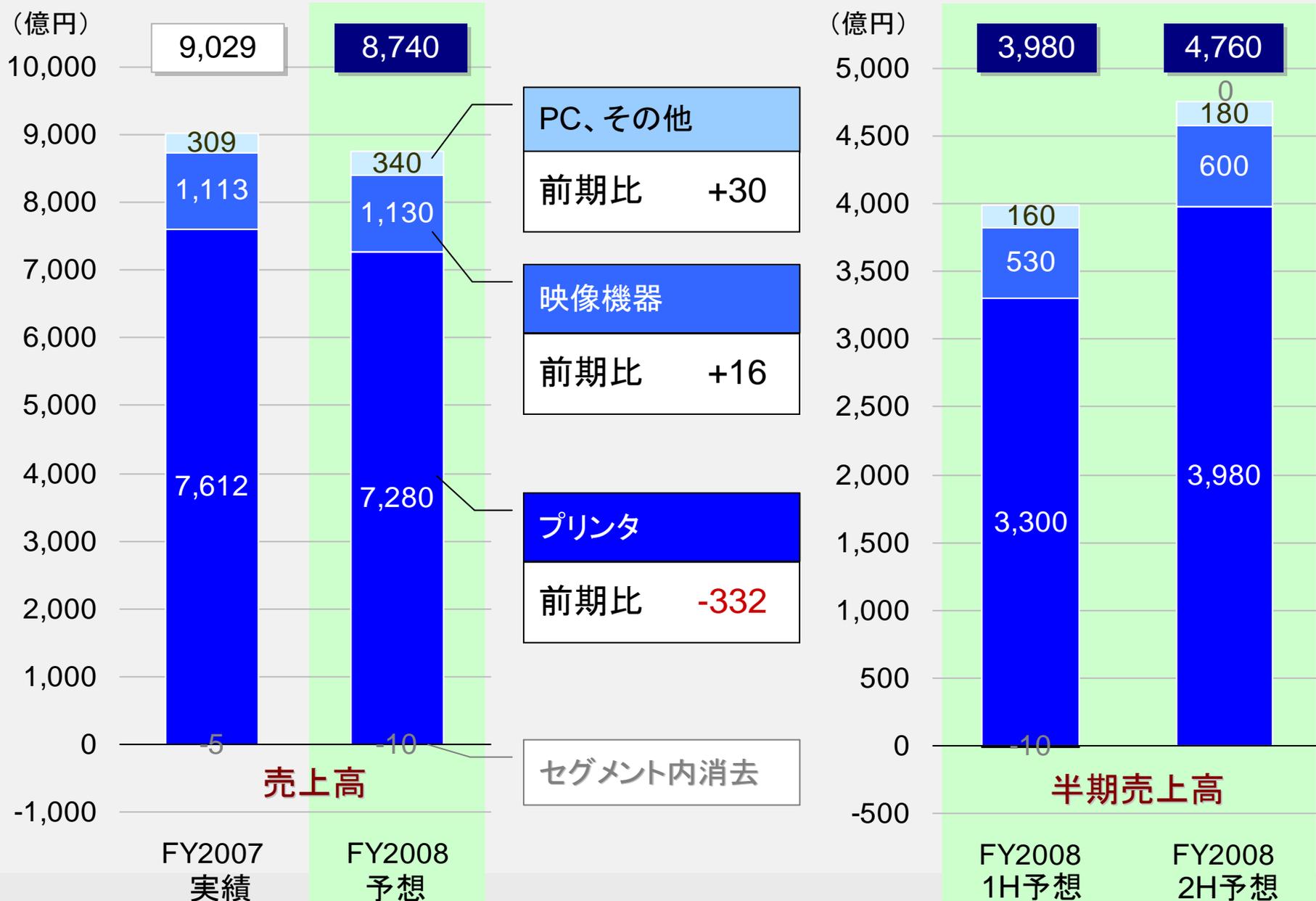
# 2008年度業績予想▶前期比

(億円)	2007年度		2008年度		増減	
	実績	売上高比	予想	売上高比	増減額	増減率
売上高	13,478	-	13,000	-	-478	-3.5%
営業利益	575	4.3%	610	4.7%	+34	+5.9%
経常利益	632	4.7%	630	4.8%	-2	-0.4%
税引前利益	520	3.9%	540	4.2%	+19	+3.8%
当期純利益	190	1.4%	310	2.4%	+119	+62.4%
EPS	97.24 円		157.87 円			
換算 レート	USD	114.28円	95.00円			
	EUR	161.53円	155.00円			

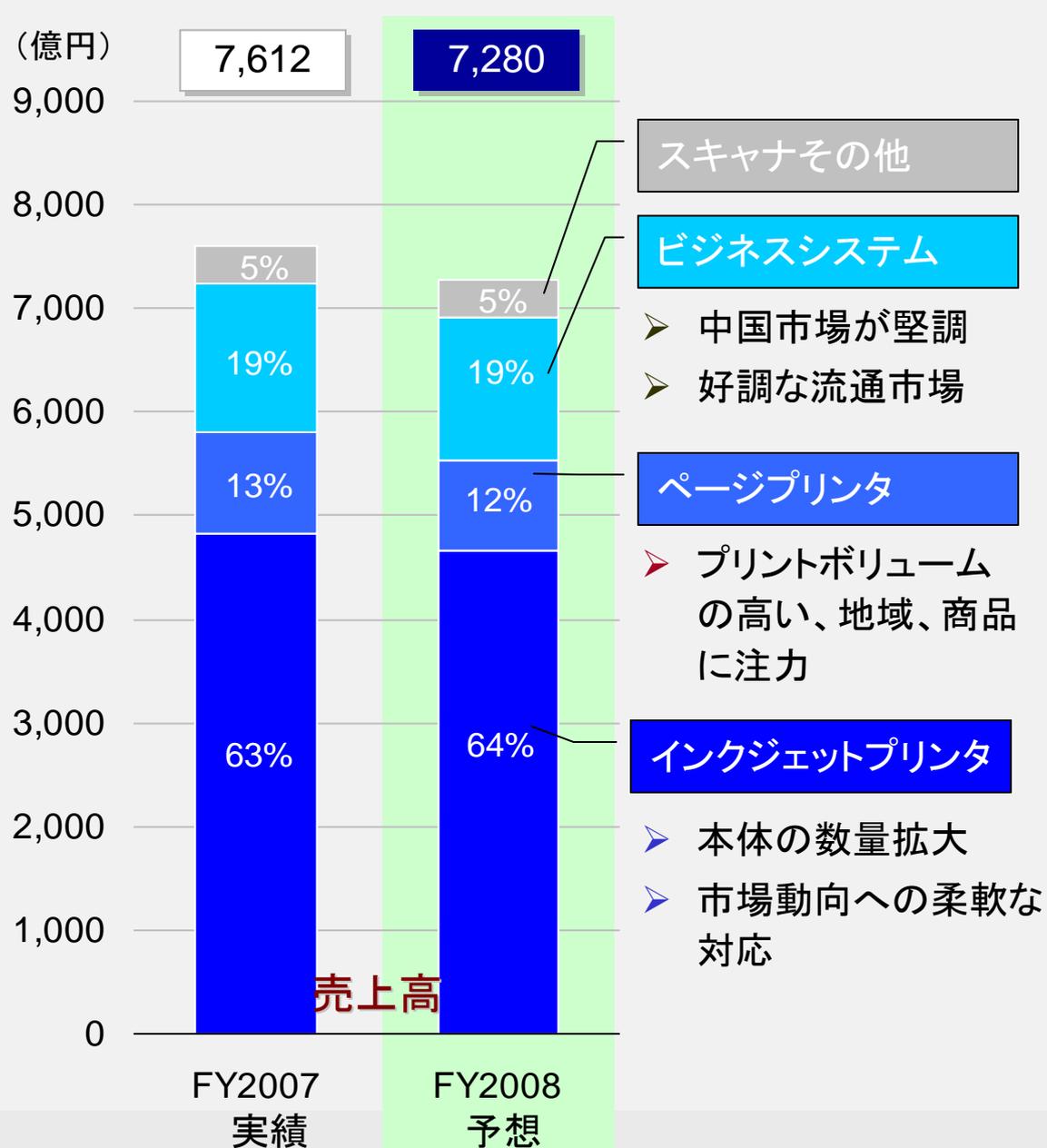
# 2008年度業績予想(売上高)▶事業セグメント別



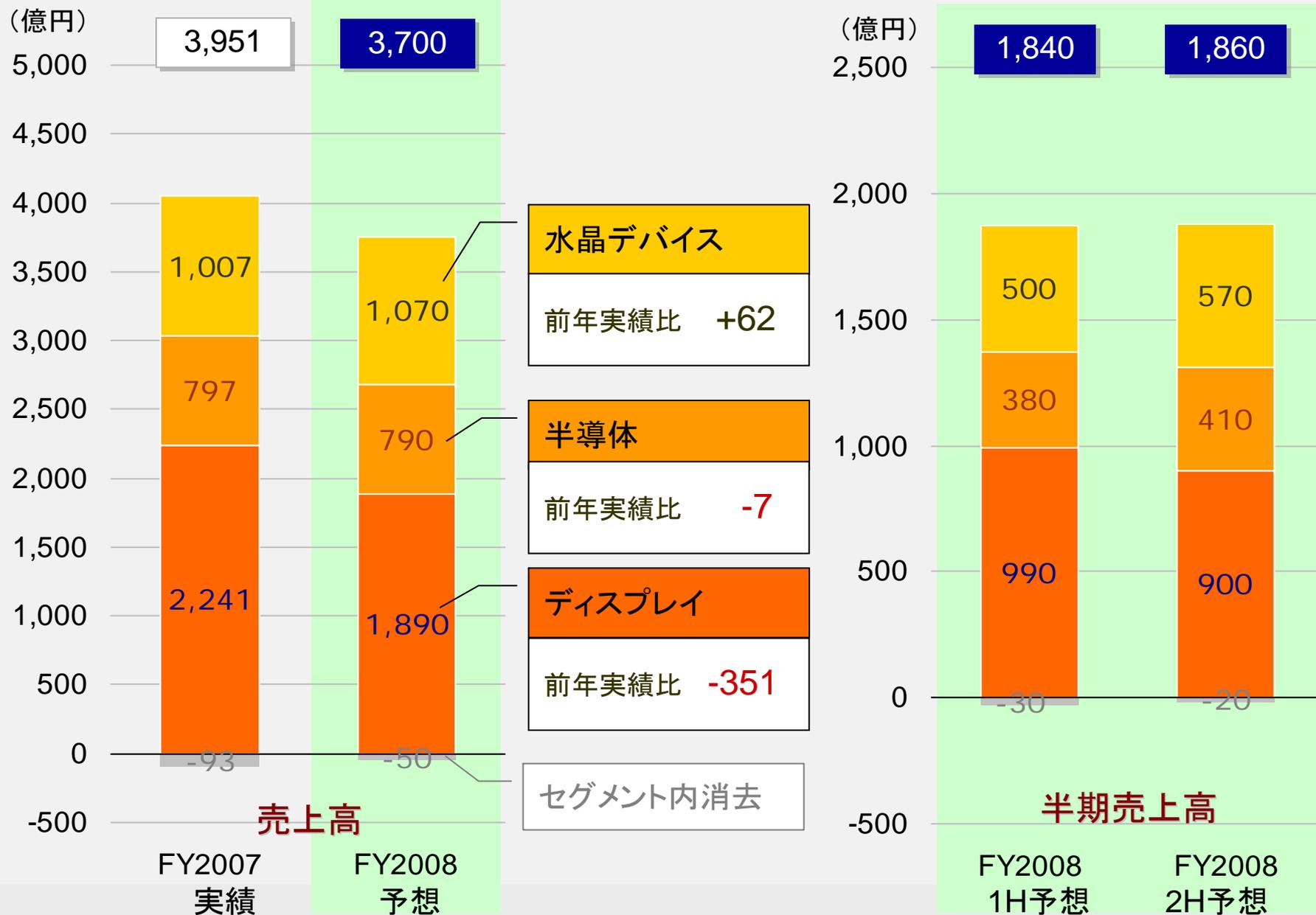
# 事業別売上高予想▶情報関連機器セグメント



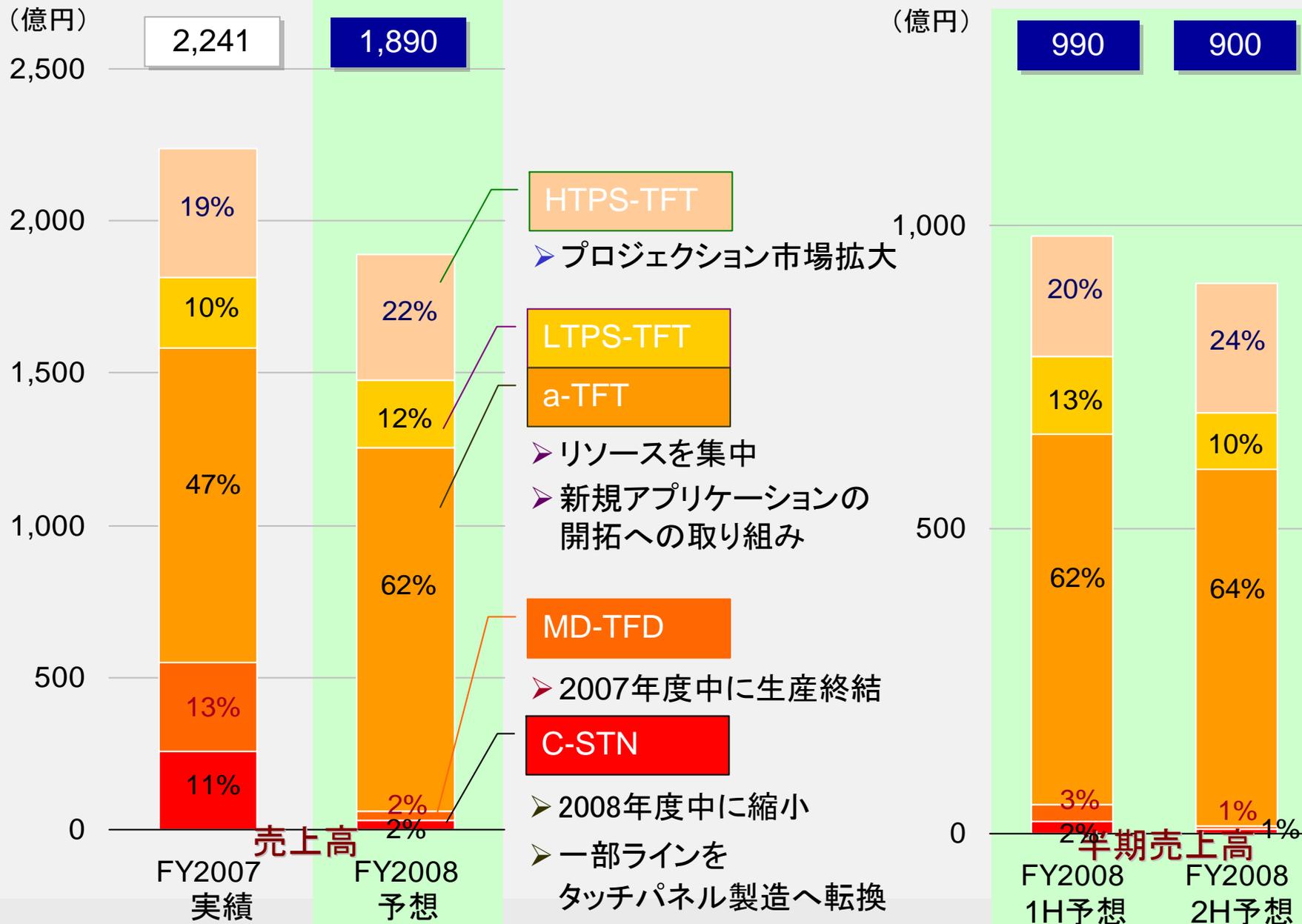
# 事業別売上高予想▶プリンタ事業



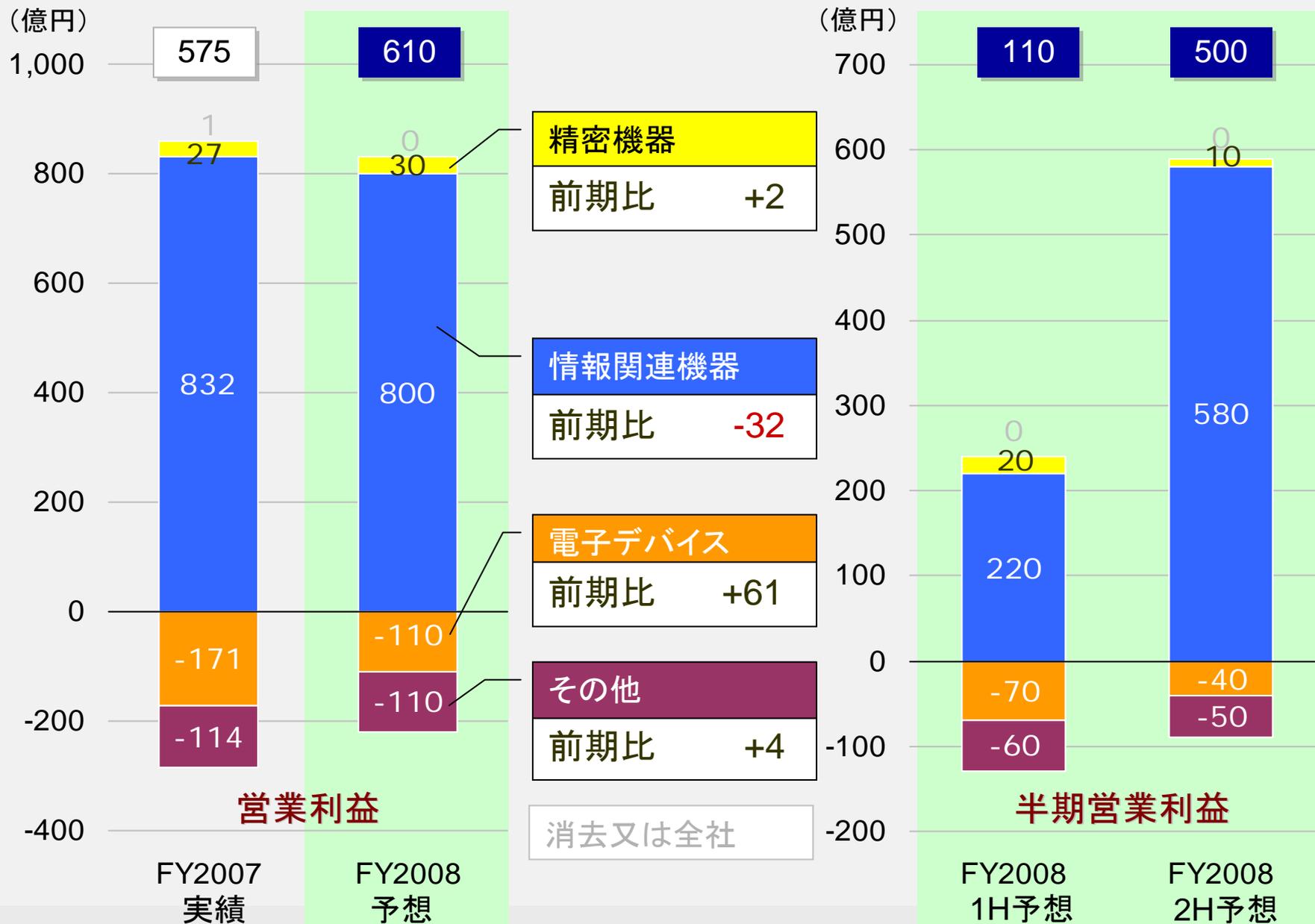
# 事業別売上高予想▶電子デバイスセグメント



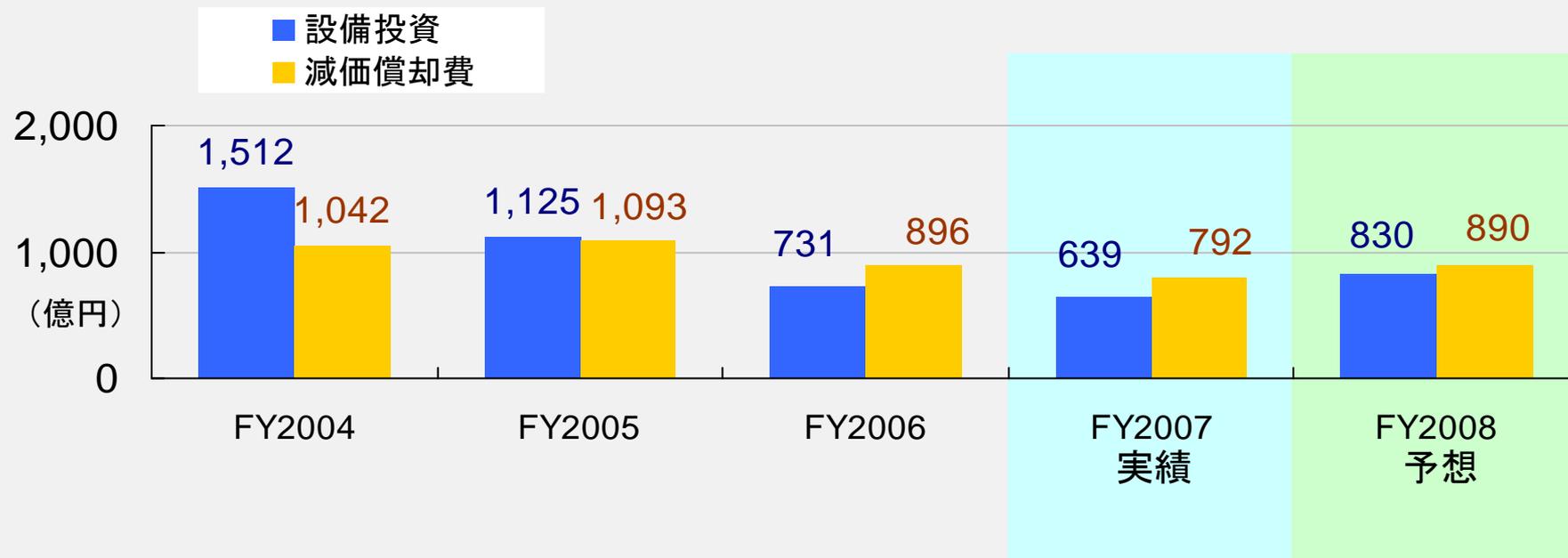
# 事業別売上高予想▶ディスプレイ事業



# 2008年度業績予想(営業利益)▶事業セグメント別



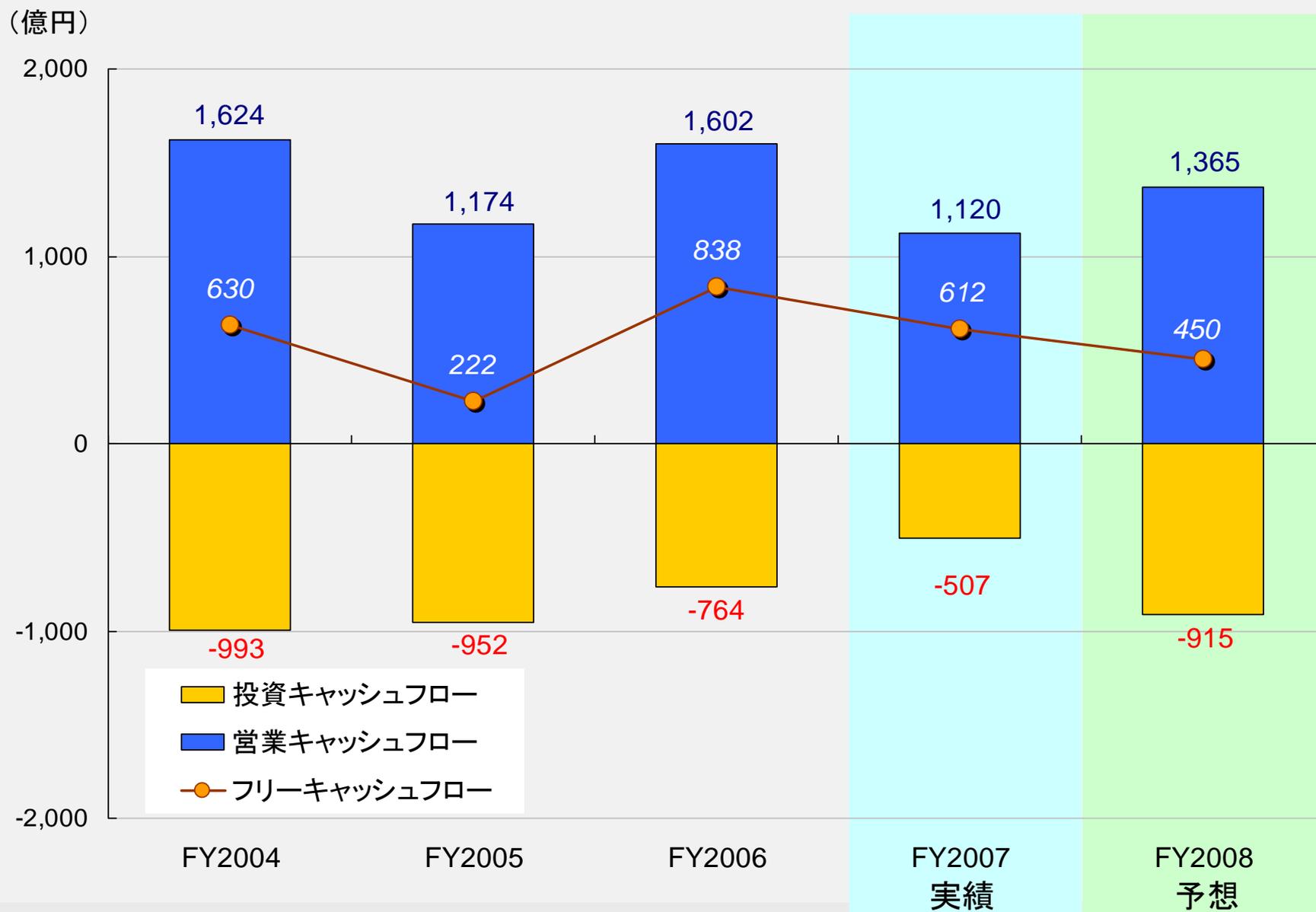
# 設備投資・減価償却費予想



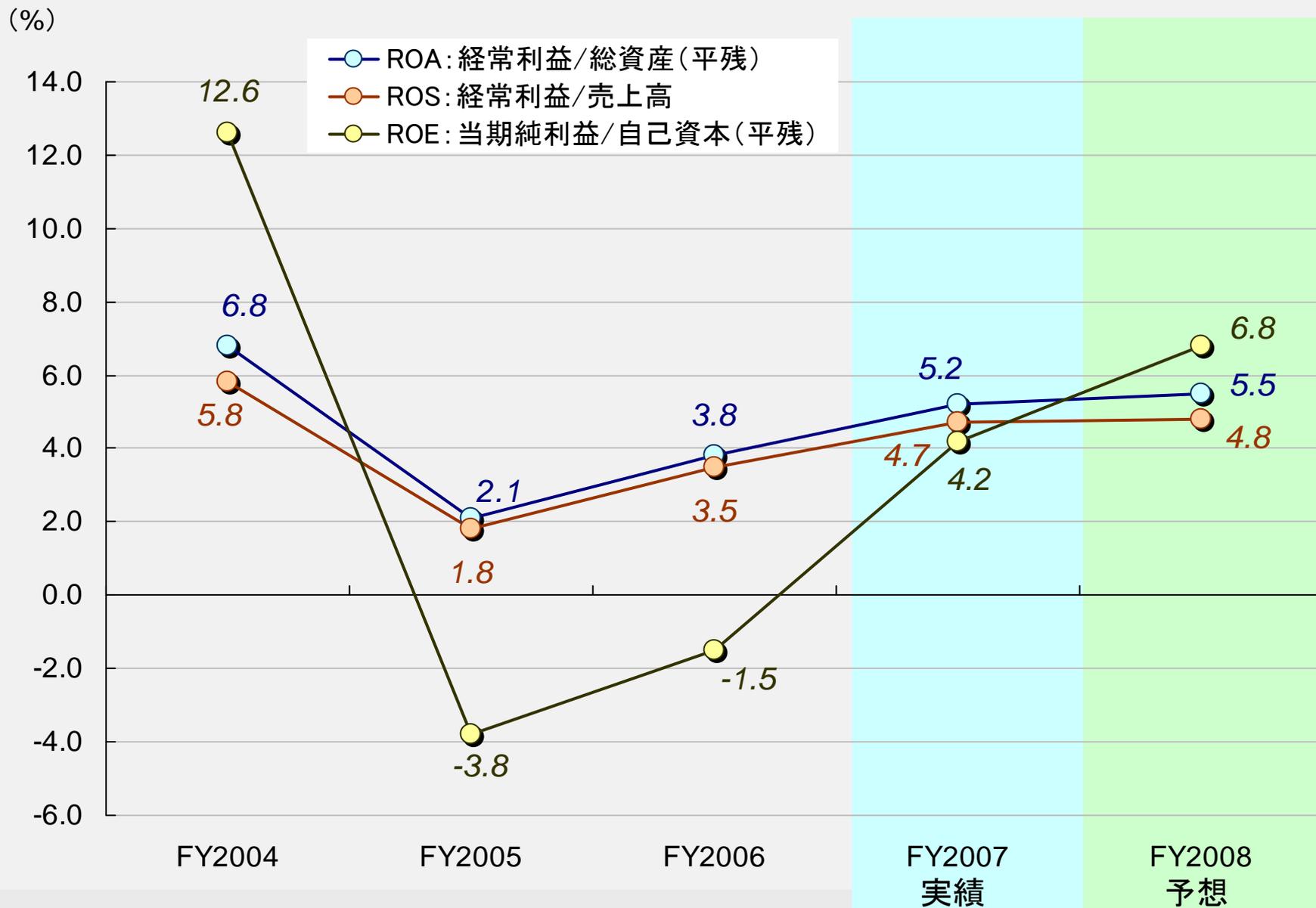
## 設備投資のトピックス

- 情報関連機器 : 新製品対応
- 電子デバイス : 能力増強対応 等

# フリーキャッシュフロー予想



# 主な経営指標の推移



**EPSON**  
EXCEED YOUR VISION